



2008年10月10日

各 位

会社名 株式会社メディセオ・パルタックホールディングス
代表者名 代表取締役社長 熊倉 貞武
(コード番号 7459 東証1部)
問合せ先 コーポレート・コミュニケーション室長 山崎 邦衛
(TEL. (03) 3517-5171)

会社名 アルフレッサ ホールディングス株式会社
代表者名 代表取締役社長 渡邊 新
(コード番号 2784 東証・大証各1部)
問合せ先 常務執行役員 財務・広報IR担当 財務企画部長 三宅 俊一
(TEL. (03) 5219-5102)

株式会社メディセオ・パルタックホールディングスと アルフレッサ ホールディングス株式会社の 合併に関する基本合意書締結のお知らせ

株式会社メディセオ・パルタックホールディングス（以下、「メディ・パルHD」という。）およびアルフレッサ ホールディングス株式会社（以下、「アルフレッサHD」という。）は、2008年10月10日開催のそれぞれの取締役会において、2009年4月1日（予定）を期して、両社が対等の精神に基づき合併すること（以下、「本合併」という。）について基本的な合意に達し、本合併に関する基本合意書を締結いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 合併の目的

近年の医療に対する国民の意識は大きく変化してきており、人々の生活の質を大切にする意識の高まりから、疾病医療だけでなく疾病予防や健康の維持を助け、人々が健康で幸せな生活を送るための、より質の高い安定的な医療の提供が望まれております。

一方で、急速な高齢化、医療技術の進歩などを背景にした医療費増大と、長期にわたる経済成長の低下による健康保険財政逼迫に対して、政府は医療費適正化の政策を推進しております。

このような環境の下、医薬品の安定供給という社会的使命を果たすため、両社はそれぞれ積極的な企業再編、効率化の追求によるコスト削減等に取り組んでまいりました。

さらに、全国どこへでも医薬品を安定供給するという「ユニバーサルサービスの提供」、人々の生命・健康に深く関わる医薬品の特質から求められる「トレーサビリティ（※）の確保」といった社会的な要請の高まりから、物流拠点、流通網、ITシステム等に関する事業基盤を、より高度に整備・拡充するための設備投資、システム投資の必要に迫られています。

食品、化粧品、日用品、一般用医薬品等の市場の中で、特に一般用医薬品につきましては、改正薬事法の施行にともない、一部の製品がスーパーマーケット、コンビニエンスストア等での販売が可能となり、近い将来、市場の垣根が取り除かれ、従来の卸売業の枠組みを越えた競争の激化が予想されます。

このように、医療費適正化に資するための厳しい経費削減や事業改革に取り組みつつ、医療用医薬品の安全かつ安定的な供給という社会的使命を果たし、さらに一般用医薬品市場における環境変化に対応し、卸機能とコスト競争力の強化のために投資を行っていくことは容易なことではなく、さらなる効率化を推進し、国民の健康な生活に貢献するためには、両社による経営統合が最良の選択であると判断し、本合併に関する基本合意にいたしました。

両社は、お互いの歴史や企業文化を理解し尊重しつつ、各々が持つ強みを活かすことにより、医療、健康、美に関するサービスを総合的に提供する、社会から最も信頼される企業グループをめざしてまいります。

本合併により新たに掲げる「すべての人々の健やかな生活に貢献します。」というグループ理念は、広く社会に対する両社の願いであり、この願いを実現するために、主として以下の施策を推進してまいります。

- ① 物流拠点、事業所の再配置による流通の最適化・効率化
- ② ITシステムの統合によるシステムの更なる高度化・効率化
- ③ 社会的要請に応えるトレーサビリティの実現
- ④ ナショナルホールセラーとして、それぞれの特性を活かしたビジネスモデルの確立
- ⑤ その他健康関連事業領域への積極展開

なお、今後、両社のメンバーにより構成される経営戦略委員会を発足させ、これらの施策について具体的な協議を進めてまいります。

※トレーサビリティとは、製品の流通履歴とその過程における保管状態を把握・管理することであり、医薬品流通業においても品質の保持等を目的にその管理強化が求められています。

2. 合併の要旨

(1) 合併の日程

合併基本合意書承認取締役会	2008年10月10日（金）
合併基本合意書締結	2008年10月10日（金）
臨時株主総会基準日公告	2008年11月23日（日）（予定）
合併契約書承認取締役会	2008年12月上旬（予定）
合併契約書締結	2008年12月上旬（予定）
臨時株主総会基準日	2008年12月8日（月）（予定）

合併契約書承認臨時株主総会	2009年 2月 中旬 (予定)
上場廃止日 (アルフレッサHD)	2009年 3月26日 (木) (予定)
合併の効力発生日	2009年 4月 1日 (水) (予定)

ただし、今後手続きを進める中で、必要に応じ両社協議の上、上記日程を変更する場合があります。

(2) 合併方式

両社是对等の精神で合併いたしますが、合併の手続き上、メディ・パルHDを存続会社とする吸収合併とし、アルフレッサHDは解散いたします。

(3) 合併に係る割当ての内容

会社名	メディ・パルHD (存続会社)	アルフレッサHD (消滅会社)
合併に係る割当ての内容	1	4.15
合併により交付する新株式数	普通株式：174,515,061株 (予定)	

(注1) アルフレッサHDの普通株式1株に対して、メディ・パルHDの普通株式4.15株を割当て交付いたします。

ただし、メディ・パルHDが保有するアルフレッサHD株式およびアルフレッサHDが保有するアルフレッサHDの自己株式につきましては、本合併による株式の割当ては行いません。

上記合併比率は、メディ・パルHDまたはアルフレッサHDの事業上または財産上の状況に重大な変更が生じた場合においては、両社協議の上、変更することがあります。

(注2) 合併の効力発生日前日の、2009年3月31日現在のアルフレッサHD株主名簿記載のアルフレッサHDの株主に対しては、2009年3月期の期末配当に代わる金銭を交付する予定です。

(4) 合併に係る割当ての内容の算定根拠等

① 算定の基礎

メディ・パルHDおよびアルフレッサHDは、本合併に用いられる合併比率の算定にあたって、公正性を期すため、メディ・パルHDは野村証券株式会社（以下、「野村証券」という。）を、アルフレッサHDはGCAサヴィアン株式会社（以下、「GCAサヴィアン」という。）を、本合併のためのファイナンシャル・アドバイザーとして任命し、それぞれ合併比率の算定を依頼いたしました。

メディ・パルHDは、本合併に関する基本合意書締結承認の取締役会に先立ち、下記の算定結果を内容とする報告書を野村証券より受領しております。

野村證券は、両社株式に市場株価が存在することから市場株価平均法による算定を行うと同時に、両社について類似会社比較法およびDCF（ディスカунテッド・キャッシュフロー）法による算定を行いました。野村證券による算定結果の概要は、以下のとおりです。

	採用手法	合併比率のレンジ
①	市場株価平均法	4.09～4.16
②	類似会社比較法	3.81～4.99
③	DCF法	3.86～4.81

なお、市場株価平均法については、最近における両社株式の市場取引状況を勘案の上、2008年10月8日を算定基準日として、算定基準日の株価終値、算定基準日から遡る1週間、1か月間およびアルフレッサHDの2009年3月期の第1四半期決算公表日の翌営業日である2008年8月5日から算定基準日までの期間の株価終値平均を採用いたしました。

野村證券は、合併比率の算定に際して、両社から提供を受けた情報および一般に公開された情報等を原則としてそのまま採用し、採用したそれらの資料および情報等が、すべて正確かつ完全なものであることを前提としており、独自にそれらの正確性および完全性の検証をおこなっておりません。また、両社とその関係会社の資産および負債（偶発債務を含む。）について、個別の各資産および各負債の分析および評価を含め、独自に評価、鑑定または査定をおこなっておらず、第三者機関への鑑定または査定の依頼もおこなっておりません。加えて、両社の財務予測に関する情報については、両社の経営陣により現時点で可能な最善の予測と判断に基づき合理的に作成されたことを前提としております。野村證券の合併比率の算定は、2008年10月8日現在までの情報と経済条件を前提としたものであります。

野村證券の合併比率算定書は、メディ・パルHD取締役会が本件を検討する際の情報および助言として提供されるものであり、メディ・パルHDの株主が本合併に関連して招集される株主総会において本合併を承認するよう勧奨することを意図するものではありません。

アルフレッサHDは、本合併に関する基本合意書締結に先立ち、GCAサヴィアンより下記の算定結果が記載された合併比率算定書入手いたしました。

GCAサヴィアンは、両社の財務情報ならびに本合併の諸条件等を分析した上で、市場株価法、類似会社比較法およびDCF（ディスカунテッド・キャッシュフロー）法を算定手法として採用いたしました。GCAサヴィアンによる算定結果は、以下のとおりです。

	採用手法	合併比率のレンジ
①	市場株価法	4.03～4.13
②	類似会社比較法	3.73～4.65
③	DCF法	4.05～5.64

なお、市場株価法については、最近における両社株式の市場取引状況を勘案の上、2008年10月8日を基準日として、算定基準日の株価終値、基準日から遡る1週間、1か月間および各社の2009年3月期の第1四半期決算公表後の翌営業日から算定基準日までの期間の出来高加重平均株価を採用しております。

GCAサヴィアンは、合併比率算定書の提出およびその基礎となる分析の実施に際し、両社の経営陣よりGCAサヴィアンに提供された情報および一般に公開された情報が、正確かつ完全であることを前提としており、独自にそれらの正確性および完全性の検証をおこなっておりません。また、両社とその関係会社の資産または負債（偶発債務を含む。）について、個別の各資産および各負債の分析および評価を含め、独自に評価、鑑定または査定をおこなっておりません。加えて、両社の財務予測に関する情報については両社の経営陣により現時点で可能な最善の予測と判断に基づき合理的に作成されたことを前提としております。GCAサヴィアンの算定結果は、合併比率算定書の提出日時点においてGCAサヴィアンが認識している情報と経済条件を前提としたものです。

GCAサヴィアンの合併比率算定書は、アルフレッサHD取締役会が本件を検討する際の情報および助言として提供されるものであり、アルフレッサHDの株主が本合併に関連して招集される株主総会において本合併を承認するよう勧奨することを意図するものではありません。

② 算定の経緯

上記記載のとおり、メディ・パルHDは野村證券に、アルフレッサHDはGCAサヴィアンに、本合併に用いられる合併比率の算定を依頼し、野村證券およびGCAサヴィアンによる算定結果を参考に、それぞれ両社の財務の状況、資産の状況、将来の見通し等の要因を総合的に勘案して、両社で合併比率について、慎重に協議を重ねた結果、2008年10月10日付にて上記合併比率が妥当であるとの判断にいたり合意いたしました。

③ 算定機関との関係

算定機関である野村證券およびGCAサヴィアンは、いずれもメディ・パルHDまたはアルフレッサHDの関連当事者には該当いたしません。

(5) 消滅会社の新株予約権および新株予約権付社債に関する取扱い

該当事項はありません。

3. 合併当事会社の概要

(2008年3月31日現在)

(1) 商号	株式会社メディセオ・パルタックホールディングス Mediceo Paltac Holdings Co., Ltd. (存続会社)	アルフレッサ ホールディングス株式会社 Alfresa Holdings Corporation (消滅会社)
(2) 事業内容	医薬品、化粧品・日用品等卸売業	医薬品、医療用検査試薬、医療機器・用具等の卸売および製造販売ならびに輸出入等を行う子会社の管理等
(3) 設立年月日	1923年(大正12年)5月6日	2003年(平成15年)9月29日
(4) 本店所在地	東京都中央区八重洲二丁目7番15号	東京都千代田区大手町一丁目1番3号
(5) 代表者の役職・氏名	代表取締役社長 熊倉 貞武	代表取締役社長 渡邊 新
(6) 資本金	21,813百万円	4,230百万円
(7) 発行済株式総数	243,246,169株	42,326,223株
(8) 純資産合計(連結)	290,692百万円	186,136百万円
(9) 総資産合計(連結)	1,104,833百万円	848,259百万円
(10) 事業年度の末日	3月31日	3月31日
(11) 従業員数(連結)	11,391名	10,517名
(12) 主要取引先	<p>[仕入先]</p> <p>武田薬品工業(株)、アステラス製薬(株)、ファイザー(株)、田辺三菱製薬(株)、中外製薬(株)、ノバルティスファーマ(株)、アストラゼネカ(株)、大塚製薬(株)、エーザイ(株)、グラクソ・スミスクライン(株)</p> <p>[販売先] (連結子会社を通じ)</p> <p>連結子会社、病院、診療所、薬局、ドラッグストア、ホームセンター等</p> <p>[営業地域] (連結子会社を通じ)</p> <p>医療用医薬品等卸売事業会社(10社) 四国4県を除く1都1道2府39県 化粧品・日用品、一般用医薬品卸売事業会社(6社) 1都1道2府43県の全都道府県</p>	<p>[仕入先] (連結子会社を通じ)</p> <p>第一三共(株)、武田薬品工業(株)、アステラス製薬(株)、中外製薬(株)、ノバルティスファーマ(株)、ファイザー(株)、田辺三菱製薬(株)、エーザイ(株)、グラクソ・スミスクライン(株)、大日本住友製薬(株)</p> <p>[販売先] (連結子会社を通じ)</p> <p>病院、診療所、薬局、ドラッグストア等</p> <p>[営業地域] (連結子会社を通じ)</p> <p>医療用医薬品等卸売事業会社(10社) 北海道を除く1都2府43県 一般用医薬品卸売事業会社(3社) 1都2府23県</p>
(13) 大株主および持株比率	<p>1. ステートストリート バンクアンドトラストカンパニー 10.31%</p> <p>2. 武田薬品工業(株) 9.31%</p> <p>3. 日本マスタートラスト信託銀行(株) 3.55%</p> <p>4. 日本トラスティ・サービス信託銀行(株) 3.34%</p> <p>5. MPグループクラヤ三星堂従業員持株会 3.13%</p>	<p>1. 日本トラスティ・サービス信託銀行(株) 4.03%</p> <p>2. 福神邦雄 3.92%</p> <p>3. アルフレッサホールディングス社員持株会 3.88%</p> <p>4. 第一三共(株) 3.71%</p> <p>5. 日本マスタートラスト信託銀行(株) 2.90%</p>

(14) 主要取引銀行	㈱みずほ銀行 ㈱りそな銀行 ㈱三菱東京UFJ銀行 ㈱三井住友銀行	㈱三菱東京UFJ銀行 ㈱みずほ銀行 ㈱三井住友銀行
(15) 当事会社間の関係等	資本関係	当事会社間の各資本関係は、いずれも0.1%未満（議決権割合）です。
	人的関係	該当事項はありません。
	取引関係	該当事項はありません。
	関連当事者への該当状況	該当事項はありません。

(16) 最近3年間の業績（連結）

（単位：百万円）

決算期	メディ・パルHD（存続会社）			アルフレッサHD（消滅会社）		
	2006年 3月期	2007年 3月期	2008年 3月期	2006年 3月期	2007年 3月期	2008年 3月期
売上高	1,921,713	2,166,762	2,254,936	1,411,639	1,589,842	1,769,454
営業利益	20,608	27,776	27,950	14,846	21,987	25,354
経常利益	32,736	41,574	42,635	19,405	27,580	31,970
当期純利益	20,842	19,105	27,794	7,073	11,941	16,177
1株当たり当期純利益(円)	97.64	82.86	119.20	189.55	301.93	396.49
1株当たり配当金(円)	15.00	15.00	18.00	69.00	77.00	83.00
1株当たり純資産(円)	1,051.97	1,128.39	1,219.50	3,537.89	3,959.80	4,324.57

4. 合併後の状況

(1) 商号	アルフレッサ・メディパル ホールディングス株式会社 英文社名：ALFRESA MEDIPAL HOLDINGS CORPORATION 英文略称：AMP H (合併の効力発生日をもって商号変更の予定)
(2) 事業内容	医薬品、化粧品・日用品等の卸売および医薬品等の製造販売ならびにこれらに関する事業を営む子会社の管理等
(3) 本店所在地	東京都中央区八重洲二丁目7番15号
(4) 代表者ならびに取締役の就任予定	代表取締役会長 福 神 邦 雄 現アルフレッサHD 代表取締役会長 代表取締役社長 熊 倉 貞 武 現メディ・パルHD 代表取締役社長 代表取締役副社長 渡 邊 新 現アルフレッサHD 代表取締役社長 代表取締役専務 三木田 國 夫 現メディ・パルHD 取締役会長 取締役 石 黒 傳 六 現アルフレッサHD 取締役副社長 取締役 渡 辺 秀 一 現メディ・パルHD 専務取締役 取締役 村 山 文 一 現メディ・パルHD 常務取締役 取締役 長谷部 省 三 現アルフレッサHD 取締役専務執行役員
(5) 資本金	22,398百万円(予定)
(6) 総資産	未定(現時点では確定しておりません。)
(7) 純資産	未定(現時点では確定しておりません。)
(8) 事業年度の末日	3月31日

(9) 会計処理の概要

本合併は、企業結合に係る会計基準における取得に該当いたします。

なお、本合併によりのれんが発生する見込みですが、その金額および償却年数等については現時点では未定であります。

(10) 今後の見通し

本合併後の新会社は、メディ・パルHDの上場取引所である東京証券取引所市場第1部への上場を継続し、アルフレッサHDの普通株式は、東京証券取引所および、大阪証券取引所の上場廃止基準に従い、上場廃止となる予定です。本合併後の新会社の詳細および本合併後の業績見通し等につきましては、今後、両社にて設置する経営戦略委員会において検討し、確定後速やかにお知らせいたします。

(11) その他

本合併は、両社臨時株主総会における承認および公正取引委員会等の関係当局への届出、承認等の諸条件が充足されることを前提としております。

以上